

立飛グループ創立100周年記念事業 Vol.2

Sound of
CHRISTMAS

2021.12.22 (WED)

OPEN 15:00 START 16:00

@TACHIKAWA STAGE GARDEN

PRE-EVENT

2021.12.21 (TUE) 12:00~/22 (WED) 13:00~

@GREEN SPRINGS 内各所



主催者ご挨拶



本日は、立飛グループ100周年記念事業「Sound of Christmas」にご来場頂き、誠にありがとうございます。本年7月開催の「#たちフェス♪ in TSG ~音楽を好きになる街へ~」に続き第2回目の開催となりました。開催会場の「TACHIKAWA STAGE GARDEN」がある街区「GREEN SPRINGS」は、「空と大地と人がつながる『ウェルビーイングタウン』」がコンセプトです。ここには中央の天然芝を中心とした約1万m²の広大な広場を囲んで、9つの建物があります。街区北側に位置する「TACHIKAWA STAGE GARDEN」は多摩地区最大規模のホールで、2階席の後方を開放して屋外ステージとつなげることが可能な唯一無二の機能を備えています。街区とホール屋上をつなぐ階段上の「カスケード」は小さな滝が連なり、「空と大地と人がつながる」を表現しています。

街区西側の「SORANO HOTEL」は最上階に全長60mの温泉水を使ったインフィニティプールを完備し、奥多摩や丹沢の山々、昭和記念公園を眺めながら、開放的な空間で、心からだに心地よいひとときを楽しめます。その他、街区にはオフィスや厳選されたショップ・レストランがあり、空と緑が調和した心地よい環境で仕事やショッピングができます。

今回もこの「GREEN SPRINGS」で「ウェルビーイング」を体感して頂きながら、あらゆる世代の方々に楽しんでいただけるように“クリスマスプレゼント”をご用意いたしました。

「Sound of Christmas」では、東京21世紀管弦楽団を中心に「秋川雅史」さんをはじめ著名なオペラ歌手の方々による馴染み深いクリスマスソングを、ジャパン・インターナショナル・ユース・バレエの華麗な舞と共に皆さまにお届けします。コンサートホールの1階部分は前回と同様に、ベビーカーや車椅子の方々にも気軽に来場いただけるスペースを充分に確保しており、小さなお子様と共にコンサートをお楽しみ頂けます。また、イベントとして、街区においても立川市民オペラ合唱団をはじめ、世界的に活躍しているクラシック奏者による演奏を展開しました。

今回の開催につきましては、立川商工会議所、たちきたエリアマネジメントの方々にご後援をいただき、公益財団法人立川市地域文化振興財団、エフエムたちかわ、ふじようちえん等地域貢献にご尽力されている皆さまにも多大なるご協力を頂いております。

今後とも皆さまのより一層のご支援ご協力を賜りますよう宜しくお願い申しあげます。

株式会社立飛ホールディングス
代表取締役社長 村山 正道

PROGRAM

- ア・クリスマス・フェスティバル／ルロイ・アンダーソン 東京21世紀管弦楽団
あわてんぼうのサンタクロース／小林亜星 アンサンブル・コノハ
ホワイト・クリスマス／アーヴィング・バーリン アンサンブル・コノハ
アヴェ・マリア／シューベルト 梶田真未・前川健生・明珍宏和
オー・ホーリー・ナイト／アドルフ・アダン 梶田真未・前川健生・明珍宏和
オー・ミオ・バッビーノ・カロ／プッチーニ 種谷典子
天使の糧／セザール・フランク 工藤和真&種谷典子
誰も寝てはならぬ／プッチーニ 工藤和真

休憩 20分

- バレエ くるみ割り人形より／チャイコフスキイ ジャパン・インターナショナル・ユース・バレエ
ガブリエルのオーボエ／エンリオ・モリコーネ 東京21世紀管弦楽団
オーボエ 大久保茉美
アヴェ・マリア／マスカーニ 翠千賀
慕情／サミー・フェイン 秋川雅史
タイム・トゥ・セイ・グッバイ／フランチェスコ・サルトーリ 秋川雅史&翠千賀
千の風になって／新井満 秋川雅史
ハッピー・クリスマス／ジョン・レノン 全員

このQRコードを読み込んで
アンケートにご協力下さい



PROFILE

Sound of CHRISTMAS Artist



東京21世紀管弦楽団

音楽を通して、多くの人たちと手を携え、今までの固定観念にとらわれない新しい時代の「楽しいオーケストラ」を目指して、演奏活動を進めていくオーケストラ。これまでに2019年オスカー新人賞を受賞したテノールのステファン・ポップの日本公演、オペラ界のビッグ・スター、テノールのファン・ディエゴ・フローレスの日本公演に出演し、好評を博した。浮ヶ谷孝夫（ブランデンブルク国立管弦楽団フランクフルトで首席客演指揮者）を音楽監督に迎え、2020年度は東京芸術劇場でベートーヴェンやブラームスといった重厚なドイツ音楽で定期演奏会を行い高評を博した。このほかバレエ、ポップスにも出演するなど活動の場を広げている。



辻 博之 指揮者

東京藝術大学声楽科在学中より著名指揮者のアシスタントを務め、オペラ指揮者の研鑽を積む。オーケストラ・アンサンブル金沢定期公演を指揮しプロオーケストラデビュー後、九州交響楽団、読売日本交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団等と共に演を重ねる。オペラの分野でも2021年チマローザ「悩める劇場支配人」ではイギリス『Opera』誌にて絶賛される他、東京藝術劇場「夕鶴」公演の成功は記憶に新しい。今、活躍が期待される指揮者の1人である。

大久保 茉美 オーボエ

洗足学園音楽大学を優秀賞を受賞し卒業、東京藝術大学音楽学部別科修了。2017年木管五重奏カラフルとしてユニバーサルミュージックよりメジャーデビュー、CDアルバム『Trip!』をリリース。2018年公開の映画「リズと青い鳥」で主人公の鎧塙みぞれのオーボエサウンドを担当。東京ドームで開催された「世界らん展 2019-花と緑の祭典」にゲストとしてライブパフォーマンスを行う。クラシックのみならず Superflyや Kim HyunJoongなど、様々なアーティストのレコード・デイニング、ライブサポートの他、STAND UP! ORCHESTRA（ソニー・ミュージックエンタテインメント）のメンバーとしてコンサートやテレビ出演など、幅広いジャンルで活動している。



秋川雅史 テノール

1967年愛媛県西条市生まれ。4歳よりヴァイオリンとピアノを始める。1998年、日本クラシック音楽コンクール最高位受賞。2006年シングル「千の風になって」を発売。同年、第57回NHK紅白歌合戦に初出場。2007年、オリコンシングルチャート1位を獲得。130万枚もの売り上げとなり、年間オリコンチャート1位獲得。同年、第47回日本レコード大賞特別賞受賞。2008年、ゴールドディスク大賞受賞。ゴールデンアロー賞受賞。2014年新国立劇場にて歌劇「カルメン」のドンホセを演じる。現在、最も実力、人気を併せたテノール歌手として活躍している。

翠 千賀 ソプラノ

東京藝術大学声楽科卒。イタリアミラノ音楽院プロフェッショナルコース留学。これまでに新国立劇場、二期会オペラ、ミュージカル等に主要キャストで出演。テレビ東京「ザ・カラオケバトル」では「オペラ魔女」として好評を博す。ワインに精通、cuore verde LCC代表。((株)オフィスオットン所属)



種谷典子 ソプラノ

国立音楽大学声楽専修及び同大学院修士課程オペラ専攻を共に首席で卒業し、学部卒業時に武岡賞を、また大学院修了時に声楽専攻最優秀賞受賞。宮内庁主催桃華楽堂新人演奏会にて御前演奏を行う。新国立劇場オペラ研修所第16期修了。平成28年度文化庁新進芸術家海外研修制度研修員としてイタリア・ミラノ及びイス・ルガーノにて研鑽を積む。オペラ『フィガロの結婚』スザンナ、『ドン・パスクワーレ』ノリーナ、『こうもり』アデーレ等を演じるほか。第24回リッカルド・ザンドライ国際コンクール(イタリア)にて特別賞を受賞。第16回東京音楽コンクール声楽部門第2位(日本人最高位)。本年9月、東京二期会『魔笛』にパパゲーナ役で二期会デビュー。二期会会員。



工藤和真 テノール

東京藝術大学卒業。同大学院修了。市川市文化振興財団主催第28回新人演奏家コンクール優秀賞。第84回日本音楽コンクール声楽部門第2位。第53回日伊声楽コンクール第1位、第17回東京音楽コンクール声楽部門第2位(最高位)オペラではマスカニ作曲『カヴァレリア・ルスティカーナ』トゥッリードゥでデビューを果たした。これまでに『椿姫』アルフレード、『トスカ』カヴァラドッシ、『魔笛』タミーノ、『トゥーランドット』ボン、『フィガロの結婚』ドン・パジリオなどで出演。テレビ番組への出演やポピュラー曲のカヴァー、ライブを行うなどクラシック以外にも幅広いジャンルで活動する。



梶田真未 ソプラノ

東京藝術大学音楽学部声楽科を卒業。卒業時に同声会賞を受賞。第19回東京音楽コンクール第一位。日生劇場オペラ「ルサルカ」森の精役、ニューウェーブ・オペラ劇場『アルチーナ』題名役、東京二期会『三部作』托鉢係修道女役で出演。現在、桐朋学園大学大学院修士課程に在籍中、二期会会員。



前川健生 テノール

国立音楽大学声楽科卒業、東京学芸大学大学院音楽コース修了。日本音楽コンクール並びに東京音楽コンクールにて入選、ソレイユ声楽コンクール第一位。二期会では『ばらの騎士』テノール歌手役、『ジャンニ・スキッキ』リヌッチョ役、『ルル』アルヴァ役で出演。遊音楽企画代表、二期会会員。



明珍宏和 バリトン

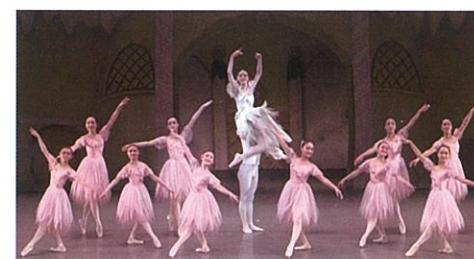
東京音楽大学卒業。2021年は日生劇場オペラ「ラ・ボエーム」にマルチエッロ役アンダースタディとして参加。ロバート・クラウダー財団、日米文化センターに招かれ、ウォルト・ディズニー・コンサートホール等でリサイタル、ロサンゼルス・フィルハーモニックのベートーヴェン第九のバスソリストを務めた。コンサートトイマジン所属。



アンサンブル・コノハ コーラス

日本の叙情歌や昭和歌謡の魅力を次世代に伝えようと音大卒メンバーで結成された実力派コーラスアンサンブル。クラシックはもちろん、日本や世界のポップスなど幅広い音楽を探求し続けている。オペラ、ミュージカルなど多岐にわたる活躍も目覚ましい。

※21日プレイベントにも出演



ジャパン・インターナショナル・ユース・バレエ

王子：酒井大 金平糖の精：瀬戸日奈子
振付：五十嵐洋子 音楽監修：御法川雄矢

立川市文化協会会長・堀江けんいちを中心に、バレエを通じた国際的な視座を持つ青少年の育成を目指し設立。イギリスなど海外のバレエ学校を招聘した交流公演の実施や地域との交流を積極的に行っている。これまで多くの所属生徒が海外バレエ学校へ留学し、国内外で活躍するダンサーを多く輩出。

PRE-EVENT Artist

2021.12.21(TUE) 12:00~/22(WED) 13:00~

@GREEN SPRINGS 内各所



須田祥子 ヴィオラ ピアノ：井上知也

桐朋学園大学を首席で卒業。第23回ヴィットリオ・グイ国際コンクールを始め多数のコンクールで第1位優勝。「報道ステーション」での生中継、テレビ朝日「題名のない音楽会」やNHK「らららクラシック」、NHKFM「今日は一日ピオラ三昧」でもそれぞれソロ演奏をフィーチャーされた。現在、東京フィルハーモニー交響楽団首席奏者、日本センチュリー交響楽団首席客演奏者、洗足学園音楽大学非常勤講師を務める他、ピオラ演奏集団「SDA48」を主宰。CD「ピオラは歌う」シリーズ、「びおらざんまい」をリリース。



大迫淳英 ヴァイオリン

日本で唯一、旅を創り、旅を彩るヴァイオリニスト・音旅演出家。皇太子殿下(現 今上天皇)ご夫妻の御前で演奏やペルリン・フィル・ヴァイオリン・アンサンブルの日本ツアーでソリストを務める。これまでにJR九州クルーズトレイン「ななつ星 in 九州」の音楽演出をプロデュースし、現在は東急「THE ROYAL EXPRESS」の音楽演出、JTBロイヤルロード銀座〈夢の休日〉感動の響きアンバサダーとして、これまでに無かった新しい音楽が寄り添う旅を企画。エフエムたちかわ「サウンド・クルーズ・ジャーニー」のパーソナリティとして「音と旅」の番組を担当している。



久保 順 フルート

1歳よりフルートを始める。NYのジュリアード音楽院、シンシナティ大学の大学院などで音楽を専攻。在学中より活躍し、レナード・バーンスタイン・コンクール優勝など受賞歴多数。現在は講師として多くのフルーティストを指導・育成している。



宅間善之 マリンバ

学生時代よりマリンバ奏者として活躍。多数のアーティストのツアーやレコード制作に参加し、自身のグループ「Vibrasonic」としてもCD・DVDをリリースし、ライブ・ツアーも大好評を博すなどジャンルを問わず活動しているマレット&パーカッション奏者。



立川市民オペラ合唱団

指揮：小澤和也 ピアノ：越前皓也、清水新 MC：宮崎京子

1992年から続く「立川市民オペラ」の専属かつ常設の市民合唱団。立川市民オペラ公演の出演を軸に、地域の演奏会などにも出演。通年の活動で研鑽を積み、より一層のレベルアップを目指しながら、オペラの普及や立川の文化芸術活動振興、街のにぎわいづくりの一翼を担っている。



Project Duo with Tansei

ピアノとベースであらゆるジャンルのグループを表現するデュオユニット「Project Duo」と、音楽としてのタップを標榜し、独自のスタイルを追求する「丹精」が起こす奇跡のコラボレーション!!

曲目解説

ア・クリスマス・フェスティバル／ルロイ・アンダーソン 作曲

ルロイ・アンダーソンは「タイプライター」、「そりすべり」など、誰もが聴いたことのある作品を残した20世紀のアメリカの作曲家で、作品の多くはボストン・ポップス・オーケストラの演奏によって世に出た。「ア・クリスマス・フェスティバル」は、アンダーソンのアレンジによるもので、今も定番のクリスマス・ソング・メドレーである。

あわてんぼうのサンタクロース／小林亜星 作曲

NHKの幼児向けテレビ番組「お母さんといっしょ」のため作られた楽曲で、作詞は吉岡治、作曲は小林亜星が担当した。オノマトペ(擬声語)を多用した楽しい歌詞と親しみやすいメロディーで、昭和46年(1971年)の発表以来、子供向けクリスマス・ソングとして愛されている。

ホワイト・クリスマス／アーヴィング・バーリント 作曲

古き良きクリスマスの情景を歌ったアーヴィング・バーリント作詞・作曲のクリスマス・ソングである。映画『スイング・ホテル』(1942年公開)の中で、アメリカを代表するボビュラー歌手ビング・クロスビーが歌い、のちに出されたシングル盤は現在までに5000万枚のセールスがあり、世界のシングルレコード売り上げ史に残る記録とされている。

アヴェ・マリア／シューベルト 作曲

スコットランドの詩人、小説家であるウォルター・スコットの叙事詩「湖上の美人」のドイツ語訳の詩に曲を付けた歌曲集の中でエレンという女性が歌う3番目の曲にあたるため、正式名称は「エレンの歌 第3番」である。のちにカトリックの祈祷文をそのままシューベルトの旋律にのせて歌われるようになり、「シューベルトのアヴェ・マリア」として知られている。

オー・ホリー・ナイト 邦題「さやかに星はきらめき」／アドルフ・アダン 作曲

フランスの作曲家アドルフ・アダンが詩人ラシード・カポーの詩に曲をつけたもので、原題は「*Cantique de Noël* (クリスマスの贊美歌)」だが、アメリカの音楽評論家で宗教家でもあるジョン・サリバン・ドワイトが英訳したもののが「O Holy Night」として広く知られる。世界各地で演奏・歌唱し続けられているクリスマス・キャロルのスタンダード。

オー・ミオ・バッピーノ・カロ 原題「O mio babbino caro」邦題「私のお父さん」／プッチーニ 作曲

1918年初演の歌劇「ジャンニ・スキッキ」の中でも最も有名なアリアで、素朴な情感と愛がソプラノによって詩情豊かに歌い上げられるこの曲は一番の聴かせどころとなっている。クラシック以外にも様々なジャンルの歌手たちがしばしばコンサートで取り上げ、リサイタルのアンコールなどでも歌われている。

天使の糧／セザール・フランク 作曲

フランスの作曲家、オルガニストのセザール・フランクが1860年に作曲した「ミサ曲 作品12」の第5曲として、1872年に追加された楽曲。中世イタリアの有名な神学者トマス・アクィナスが書いた讃美歌の一節を用いている。その美しい旋律から、演奏会やコンサートなどで単独曲として様々なアレンジで歌唱・演奏される機会の多い作品である。

誰も寝てはならぬ／プッチーニ作曲

歌劇「トゥーランドット」のテノールが歌う名アリア。ルチアーノ・パヴァロッティがイギリスで単体のシングル「誰も寝てはならぬ」を発売、イギリスで400万枚、全世界で1,200万枚以上の驚異的な大ヒットとなる。サッカーワールドカップの決勝戦前夜3大テナー(パヴァロッティ、トミング、カラーラス)が歌い全世界でも有名なクラシック曲となった。

バレエ くるみ割り人形より／チャイコフスキー 作曲

クリスマス・イブの夜、クララはプレゼントに貰ったくるみ割り人形を抱いて眠りにつく。すると夢の中でネズミの大群が押し寄せ、くるみ割り人形率いるおもちゃの兵隊との戦いが始まった。クララが大切なくるみ割り人形を助けると、凛々しい王子が現れ、人形を助けてくれたお礼に、クララをお菓子の国へと導く。こんぺい糖の精、花の精たちと踊り、クララは夢のようなひと時を過ごす。楽しい夢も覚める頃、一緒に踊った王子は…。

ガブリエルのオーボエ／エンリオ・モリコーネ作曲

86年のイギリス映画「ミッショーン」の挿入曲、映画の主人公ガブリエルの神父が、劇中に演奏する楽曲。のちに独自に歌詞が付けられ、イタリアの映画音楽の巨匠エンリオ・モリコーネに許諾を得て、「ネラ・ファンタジア」のタイトルでサラ・ブライトマンがカバーして大ヒットした。

アヴェ・マリア／マスカーニ作曲

歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ（田舎の騎士道）」の有名な間奏曲は単独で演奏される機会も多く、のちに、P. マツォーニが歌詞をつけてできたのがこの曲である。聖母マリアに救いを求める歌詞で「マスカーニのアヴェ・マリア」としても親しまれている。オペラのシーンだけではなく、コンサートのアンコールとしてもよく使われる曲である。

慕情／サミー・フェイン作曲

1955年に公開された香港を舞台にしたアメリカ映画「慕情」の主題歌で、原題は「Love is A Many Splendored Thing」。フォーエイセスが歌い第28回アカデミー賞歌曲賞を受賞している。映画音楽史上屈指の名作と言われるこの主題歌は、アンディ・ウィリアムス、フランク・シナトラ、ナット・キング・コールなど多くの歌手に歌われている。

タイム・トゥ・セイ・グッバイ／フランチェスコ・サルトリ作曲

原曲はイタリア人歌手アンドレア・ボチェッリの「コン・テ・バルティロ（Con Te Partirò）」。1996年にイギリス人ソプラノ歌手サラ・ブライトマンがボチェッリにデュエットを申し出て、イタリア語から英語に変更して発売した「タイム・トゥ・セイ・グッバイ（英：Time To Say Goodbye）」は爆発的にヒットし、世界で史上最も売れたシングルの一つとなっている。

千の風になって／新井満作曲

アメリカ発祥の詩を芥川賞作家の新井満氏が翻訳、自ら作曲、歌唱して録音したのが原点である。様々なアーティストがカバーし、秋川雅史氏が2006年末のNHK紅白歌合戦で披露しミリオセンセラー・ヒットとなった。『第49回日本レコード大賞』では特別賞を受賞、作曲を手掛けた新井満氏も作曲賞を受賞した。現在も様々な場面で聴かれ、愛され続けている。

ハッピー・クリスマス／ジョン・レノン作曲

1971年に発表されたジョン・レノンとオノ・ヨーコ共作のクリスマス・ソング。サブタイトルの「戦争は終わった（War Is Over）」は、二人が行った平和活動でポスターや看板に使っていった言葉で、“War is over, if you want it（あなたが願えば、戦争は終わる）”と歌うことによって、世界の人々に向けて一人一人が平和を祈ることの大切さを伝えている。

TACHIKAWA STAGE GARDEN



ACCESS

TACHIKAWA STAGE GARDEN

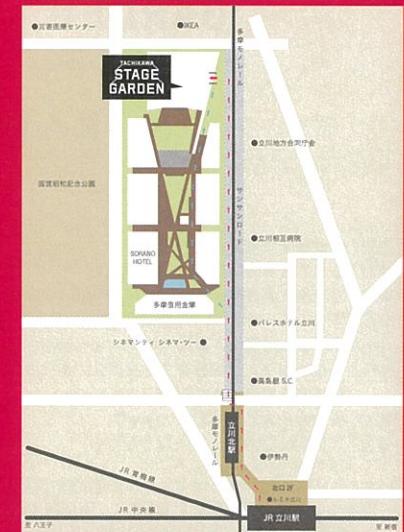
(立川ステージガーデン)

〒190-0014 東京都立川市緑町3-3 N1

新宿駅から立川駅までJR中央線
(中央特快・青梅特快利用) で約25分
立川駅から徒歩8分
多摩モノレール立川北駅から徒歩7分

①ご注意

TACHIKAWA STAGE GARDENにはお客様専用駐車場はございません。公共交通機関等をご利用ください。





SORANO HOTEL

[主催] 株式会社立飛ホールディングス

[協賛] 日本生命保険相互会社 東京西支社

[後援] 立川商工会議所／たちきたエリアマネジメント

[企画] ブリマヴェーラ・アーツ株式会社

[企画協力] 公益財団法人立川市地域文化振興財団

[制作] 一般社団法人立飛教育文化振興会／株式会社立飛ストラテジーラボ／

株式会社立飛スピカリティマネジメント

[運営] 株式会社シターワークショッブ

[協力] エフエムたちかわ／ふじようちえん

★ 本イベントは新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施いたします。館内ではマスクを着いただき、手洗い・手指消毒へのご協力をお願いいたします。客席内での飲食はご遠慮ください。ホール内の掛け声・発声はお断りしております。ご理解・ご協力のほどお願い申し上げます。